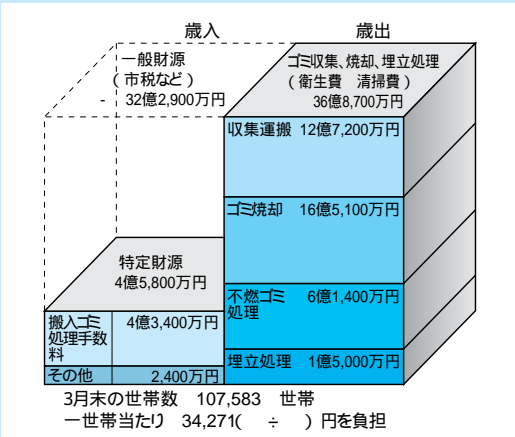


一世帯年間3万4000円掛かっています

ゴミの経費を減らしましょう

今回は、家庭から出るゴミについて考えてみましょう。
本市のゴミの量とその処理に掛かる経費



平成十三年年度の一年間に六供、亀泉、荻窪の各清掃工場に運び込まれたゴミの量は、約十一万四千。これは市役所庁舎に換算すると約四・五杯分です。この処理経費は左図のとおりで、ゴミの収集や運搬に十二億円、焼却に十六億円、不燃ゴミの処理などに

七億円、合わせて三十六億八千七百万円掛かっています。これは、ゴミを処理するために一世帯当たり年間約三万四千円掛かっている計算です。なお、この経費には収集する職員の人件費や委託料、焼却する際の薬剤費や施設・機械の減価償却費なども含まれます。

このほかに、十三年度から十四年度の二カ年でダイオキシン類削減対策事業に四十八億円、現在建設を進めている荻窪最終処分場施設整備事業に七十五億円の経費が掛かっています。

財源は、手数料などの「特定財源」から四億五千八百万円、皆さんが納めている市税など、「一般財源」から三十二億二千九百万円が充てられています。

経費を削減するには
この経費を削減するには、皆さんが意識してゴミの量を減らす必

要があります。



たとえば、可燃ゴミの約半分を占める紙類については、有価物集団回収(資源回収)を利用し、排出量を1%減らすことができ、約一億二千万円削減できます。買い過ぎ、作り過ぎをなくし、野菜の残り物を上手に使い切るなど、「エコクッキング」を心掛けることで、生ゴミの減量も。また、ゴミを「燃やす・埋める」といった処理だけに頼るのではなく、リサイクルなど「ゴミを再資源化すること」も必要です。

「ゴミの減量やリサイクルは、社会全体で取り組まなくては効果が上がりません。快適な環境を次の世代へ引き継ぐために、皆さんの協力が大切です。

問い合わせは清掃業務課
890 6273、財政課
890 6542へ。

なくそう誤解や偏見

12月1日は世界エイズデー

十二月一日は「世界エイズデー」です。これは、WHO(世界保健機構)がエイズまん延防止と患者や感染者への差別・偏見の解消を目的に、一九八八年に提唱したことが始まり。今年のテーマは「エイズ」目をそらさないで考えてみよう! です。

現在の患者や感染者数は左表のとおり。ともに増えています。

エイズ啓発活動
日時 11月29日、12月4日、午前10時～午後3時 会場 市役所1階市民ロビー 内容 市エイズ啓発パネルやデザイン協会所属会員制作のポスター、レツドリボンツリー(エイズに苦しむ人々への理解と支援のシンボル)の展示、健康相談などを行い、エイズの理解と差別・偏見を解消

エイズ相談
日時 月曜、金曜 午前8時30分～午後5時15分 会場 前橋保健福祉事務所、保健センター 内容 面接・電話相談

エイズ検査
前橋保健福祉事務所や各医療機関で行っています。検査希望者は、感染の機会があったときから三カ月後に受けてください。

特別エイズ相談・検査
日時 11月26日・12月3日、午後6時～7時 会場 前橋保健福祉事務所 申し込み 前日まで 前橋保健福祉事務所へ

学校での活動
学校では、平成八年から三カ

エイズ患者・感染者数(平成14年6月末現在) 血液凝固因子製剤での感染は除く		
感染理由	日本国内(人)	群馬県(人)
異性間の性的接触	3,169	80
同性間の性的接触	2,153	7
注射器の共用	44	3
母子感染	41	0
その他・不明	1,779	32
合計	7,186	122

問い合わせは保健センター
223 8844、学校指導課
890 5862、前橋保健福祉事務所 231 772へ。